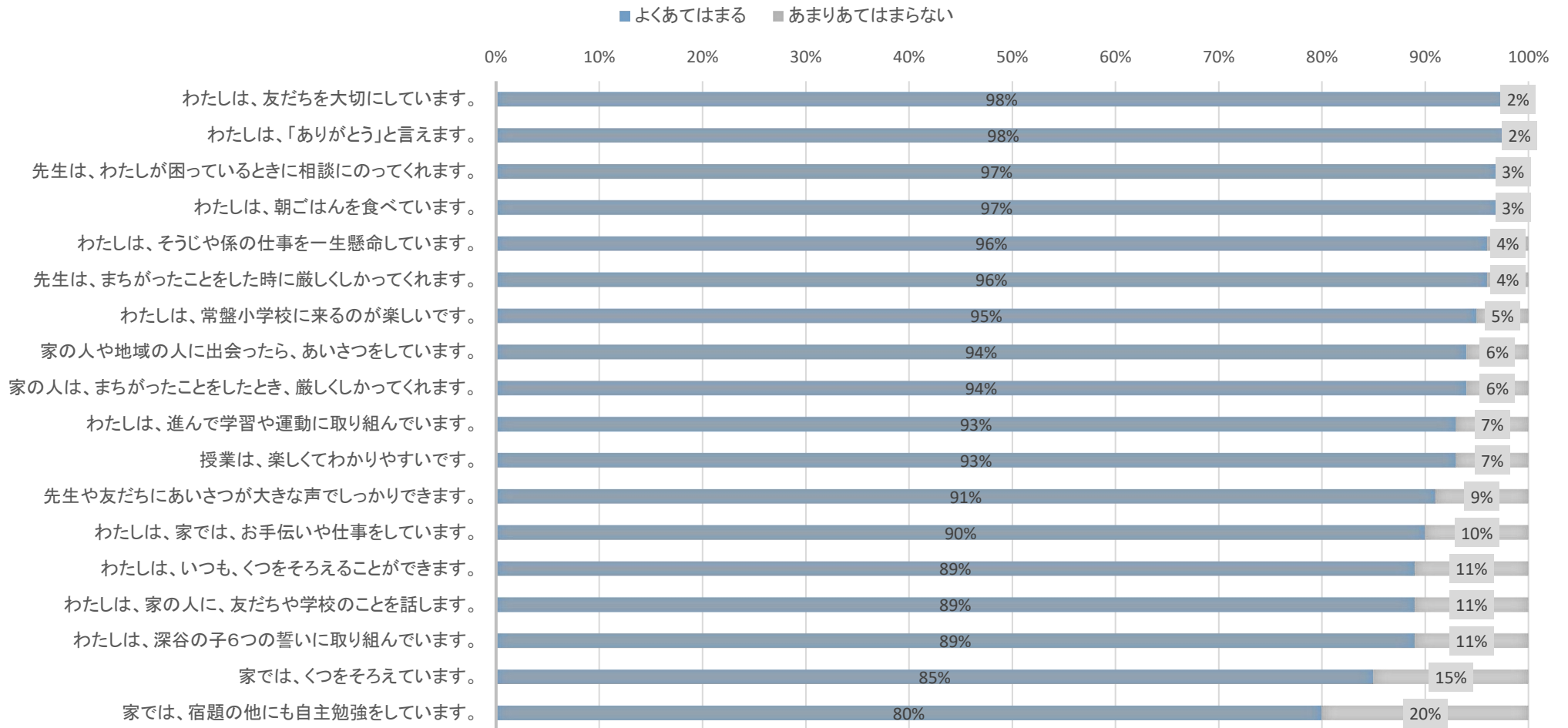


令和2年度 後期 児童のふりかえり



選択肢「よくあてはまる・ややあてはまる」（概ね達成）の評価は、全項目平均92.4%で9割を超えました。18項目中7項目で95%を13項目で90%を超えることができました。特に「友達を大切にしている」「ありがとうと言える」項目の評価が前期評価に続き高く、優しく気持ちで学校生活を送っている様子が見られます。また、「掃除や係の仕事を一生懸命する」「先生は困っているときに相談にのってくれる」「先生はまちがったときにしかってくれる」など子供たちと教員が信頼関係で結ばれている様子もくみ取れます。さらに、「朝ごはんを食べている」が97%と高くなっているのは、食育についての2年間の取り組みの成果が出ているものと伺えます。一方で、「家でのくつそろえ」「宿題以外の自主学習」が8割程度という状況があります。児童の評価では、「家の人・地域の人にあいさつをしている」が高いが、保護者評価の記述では、登下校での児童のあいさつができていないが多数あり、児童と保護者とのギャップも感じる。その他の家庭生活の項目や深谷の子6つの誓いの取組などを家庭・地域と連携して取り組んで行く必要性を感じます。